

TB杭（耐震場所打ち杭;SKTB杭 [KCTB杭]）

大きな曲げモーメントやせん断力が作用する杭頭部に、内面圧延突起付き鋼管を用いて鋼管コンクリート構造とした耐震性に優れた場所打ち鋼管コンクリート杭です。SKTB杭は新日本製鐵(株)と(株)クボタおよびTB杭協会が共同開発し、昭和63年9月に(財)日本建築センターの一般評定を取得しています。従来のSKTB杭の最大コンクリート設計基準強度は $32\text{N}/\text{mm}^2$ でしたが、これをTB杭協会が $45\text{N}/\text{mm}^2$ まで向上し、平成23年2月に改めてKCTB杭（高強度コンクリート耐震場所打ち杭）として(財)日本建築センターの一般評定を取得しております。

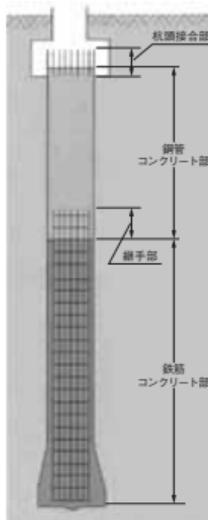
構成

鉄筋コンクリート部、鋼管コンクリート部の二つの部分から成り立っている場所打ち杭です。さらに鋼管コンクリート部は、杭頭接合部、本体部および継手部から構成されています。本体部は内面圧延突起付き鋼管を用いて鋼管無筋コンクリート構造または鋼管鉄筋コンクリート構造となっております。

特長

TB杭は従来の場所打ちコンクリート杭に比べて以下の特徴を有しています。

- ① 杭頭部を拡大しなくても十分な必要抵抗曲げモーメントが得られます。
- ② 杭頭部拡大杭に比べ剛性が小さいので、杭に発生する曲げモーメントが小さくなります。
- ③ 大きいせん断耐力を保有しています。
- ④ じん性が大きいので、地震時の安全性を高くできます。
- ⑤ 密な配筋の鉄筋かごを使用しないため、コンクリートの回り込み不良等の施工上の不安が解消されます。
- ⑥ 鋼管に負の摩擦力対策を施すことが可能となります。



仕様

規格：JIS A 5525に定める内面圧延突起付き鋼管
SKK400-IR、SKK490-IR

外径： $\phi 700\sim 2500\text{mm}^*$

板厚： $t9\sim 22\text{mm}$

詳細は、内面圧延突起付き鋼管を御覧下さい。

なお、コンクリート設計基準強度は $18\sim 45\text{N}/\text{mm}^2$ に対応しています。

*詳しくは、お問合せ下さい。